

令和7年度第3回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議開催結果

<日時>

令和7年11月27日(木) 午前10時00分～10時55分

<場所>

千歳市総合福祉センター4階402号室

<出席者>

委員、千歳市及び事務局 計29名

【委員】22名

青木会長、田口副会長、日浦委員、白畑委員、村田委員、守村委員、高橋(洋)委員、結城委員、古田委員(オンライン参加)、佐藤委員、菊池委員、岡田委員、伊林委員、新保委員、濱野委員、玉井委員、高橋(和)委員、清水委員、山崎委員、影山委員、奥貫委員、山田委員

欠席(5名)

後藤委員、長澤委員、塩原委員、秋田委員、大山委員

【千歳市・事務局】7名

(千歳市)松本児童発達支援センター長、西島自立支援係長、小島主幹(基幹相談支援担当)

(事務局)横井障がい者支援課長(事務局長)、阿部障がい福祉係長(事務局次長)

米澤千歳市障がい者総合支援センター長(事務局次長)

<配付資料(別添のとおり)>

3 議題

(1) 各部会活動報告

こども部会

はたらく部会

相談支援専門部会

地域生活専門部会

差別解消・虐待防止専門部会

(2) 千歳市からの報告

千歳市障がい者地域生活支援拠点等の整備状況

千歳市コミュニケーション条例制定記念行事の結果報告

<次第>

1 開会

2 あいさつ

千歳市障がい者地域自立支援協議会 青木会長あいさつ

千歳市障がい者地域自立支援協議会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

皆様におかれましては、平素より協議会の運営に特段のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今回の協議会は、令和7年度の第3回目の定例会議であります。議題といたしましては、8月に開催しました第2回定例会議以降の「各部会等の活動報告」のほか、千歳市から2つの報告があります。

1つ目は「千歳市障がい者地域生活支援拠点等の整備状況」、2つ目は、「千歳市コミュニケーション条例制定記念講演の結果報告」についてであります。

本日も様々な報告等がありますことから、限られた時間内ではありますが、活発にご協議いただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健康と今後益々のご活躍を祈念いたしまして、簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。

3 議題

(1) 各部会活動報告

各部会長から「議題(1)」の資料により報告があった。

こども部会(影山部会長)

はたらく部会(結城部会長)

相談支援専門部会(奥貫部会長)

地域生活専門部会(高橋部会長)

差別解消・虐待防止専門部会(青木副部会長)

【質疑等 議題(1)】

<A委員>

紙資料には記載がないが、はたらく部会から、11月のはたらく部会定例会で少年院の統括専門官から講演があったとの報告があった。触法関係の利用者が増えているということか。

<結城部会長>

北海少年院ははたらく部会との関わりが深く、部会にも毎回参加していただいている。その関係で、はたらく部会で、一度少年院についての講演をしてもらおうという話になった。

<A委員>

触法関係の利用者は、市内でも受け入れがあると思うが、人数や割合は把握しているのか。

<小島主幹>

触法関係の利用者が増えているというわけではないが、数名はいる。

<A委員>

そのような方の支援体制はどうなっているのか。

<小島主幹>

保護観察期間の方は保護観察関係の機関からも支援がある。就労継続支援の事業所や、居住支援の事業所等に支援をお願いする際には、所定の研修を受けた精神保健福祉士や社会福祉士がいて、支援体制がしっかりとしたところをお願いをする場合が多い。

(2) 千歳市からの報告

千歳市障がい者地域生活支援拠点等の整備状況

阿部係長から「議題(2) - 」の資料「千歳市障がい者地域生活支援拠点等機能事業所一覧」により説明があった。

【質疑等 議題(2) 】

< A 委員 >

何年前から、グループホームを部会でフォローするという話が出ていたと記憶しているが、どのように進んでいるのか。

また、今年度から地域連携推進会議が義務付けられていると思うが、市内のグループホームでは、この会議の議事録等が公表されているのか。グループホームにホームページ等があれば、議事録等を広く公開することができると思うが、ホームページがないような場合は、どのように公表するのか。

< 阿部係長 >

グループホームのフォローについては、千歳市障がい者地域生活支援拠点等に登録していただいた事業所が、自動的に地域生活専門部会の構成機関になるため、今後、同部会に参加していただき、拠点機能の向上等について協議していただく予定である。

また、地域連携推進会議については、市はオブザーバーとして任意で参加することとされており、事業所から打診があれば市も参加することがある。議事録の公表状況については、指定権者ではない市町村には届出がないので把握できていない。

< A 委員 >

基幹相談支援センターとグループホームの関わりについて、基幹相談支援センターのホームページの方に居住関係の事業所一覧が載っていたかと思うが、そこのリンクは考えていないのか。

< 米澤センター長 >

市内で増えてきたグループホームとセンターの関係性もまだまだ足りないところがあると思っており、関係構築を進めているところである。

< A 委員 >

地域生活専門部会で、市内のグループホーム事業者が一同に会する機会はあるのか。

< 米澤センター長 >

今年度中に、市内のグループホーム事業者を集めて支援についての勉強会をしたいと部長と相談して、調整している段階である。

< A 委員 >

子どものグループホームを選ぶ親の立場としては、議事録は一つでも多く早く見たいところである。また、グループホームに三つ四つぐらい型があったと思うが、そのあたりの情報もぱっと見てわかるものがないので、可視化してほしく、そのあたりの整備もぜひ地域生活専門部会にお願いしたい。

千歳市コミュニケーション条例制定記念行事の結果報告

阿部係長から「議題（２） - 」の資料「千歳市コミュニケーション条例制定記念行事「障がい、ふれる。」実施結果」により説明があった。

【質疑等 議題（２） - 】

< A 委員 >

行事には私も参加させていただき、デジタル機器など見たことがないものがたくさんあったが、そこで展示されていたものは、市の様々な施設で使うことができたり、障害者の方が窓口等に来られて使用できるということで、間違いないか。

また、コミュニケーション条例の中で、自ら選択する権利のようなことが書いてあるが、障がいのある当事者には使う能力と使う経験が必要であり、ただ、用意されたからといって、コミュニケーションボードなどを使えるわけではない。特に成人の方は新しい方法に慣れる機会が非常に少ない。幼児とか、学齢期の方は、事業所なり学校なりで経験を積めると思うが、様々な手段に触れることで、将来的に自分に合った方法を選択することに結びついていくと思う。コミュニケーションボードがもしできたら、今日集まった皆さんや、こども部会、学校、はたらく部会のみなさんに、実際の現場で使っていただいて、試験的にでもいいので日常的な使用を実践してみて、どうだったかという報告を、この協議会の中で共有していただきたい。千歳市ではコミュニケーションボードをただ作っただけでなく、実際に活用されているということを、全国に伝えられるよう、進めていってほしい。

< 阿部係長 >

行事で展示した機器については、市の窓口に関心しているものもあるが、基本的に家で使用してもらうものが中心だった。コミュニケーションボードについては、障がい者支援課の窓口におけるように検討中である。事業所での使用については、これからの課題として受け止める。

4 その他

連絡事項なし。議題以外の事項に関して、以下の質疑等があった。

【質疑等（その他） 】

< A 委員 >

11月16日にみんなをつなげる会でコミュニケーション条例に関する学習会が開催されていたとのことだが、私の周囲でその情報があまり知られていなかった。市内・市外で開催され

る障がい関係の行事について、まとめて掲載されている場所があればと思う。また、千歳市の公式LINEについて、障がい関係の情報に飛ぶのに時間がかかり、探しにくい。対面で相談にいけない人は、困っている人の中でも頑張れる人であり、本当に疲れている人に対面相談は難しい。そのような人が情報にアクセスしやすいよう、LINE等を改善してほしい。

<阿部係長>

民間主催の行事開催の情報等を取りまとめることができるかという点は、課題もあると思うが、有益な情報を必要な人に素早く届くよう発信することについては、必要なことだと考えている。今年度、千歳市のホームページがリニューアルされる予定なので、そのタイミングで、LINEからのアクセスしやすさなどについても、整理していきたい。

<青木会長>

11月16日の学習会については、「広報ちとせ」と「生活情報誌ちゃん」とには掲載したが、SNSでの掲載についても、今後検討したい。

【質疑等（その他）】

<B委員>

障がい者の個別避難計画の策定について、千歳市の進捗はどうか。

<阿部係長>

福祉課で所管しているものだが、要支援者全てを網羅している状況ではないため、今後の課題と考えている。

<B委員>

個別避難計画を把握していない当事者もいると思うので、もう少し市民に周知したほうがよいと思う。

<阿部係長>

障がいのある人に対する災害対策は、市も課題として認識しており、個別避難計画とは少しずれるが、昨年度から、民間の福祉事業所と協定を結び、民間の事業所を福祉避難所として利用する取り組みを進めているところである。今後も様々な取り組みを考えたいので、引き続きご意見などをいただければと思う。

<C委員>

私は防災士の資格を持っており、その観点から言わせていただく。千歳市の災害時の障がい者の避難計画について、全員分は立案されていない状況だと思う。各事業所の利用者が本当に災害時にどのような避難経路をとるか、確認すべきである。例えば、雪が積もる冬に、避難所として指定されている場所に、果たして車いすなどでどうやって辿り着くのか、自宅避難を選択するのか、それとも避難所での生活を選択するのか、車が使えず、障がい者をおんぶやだっこをして移動することになった場合、雪の深い中どのように移動するのか、移動した先での生活の仕方をどうするのかといったところが、皆さん、多分イメージされたことがないと思う。一度勉強会をするなどして、みんなで共通の理解を持った方がいい。他市区町村では、避難所となっている場所で暖房を切り、最低限の食べ物で、靴も履かずに実際に過ごす

いう避難訓練をしているところもある。健常者でさえ、とても辛い。そういった避難生活を実際にイメージできるような避難訓練というものを、市で実施するか事業所ごとで実施するかはわからないが、今一度、利用者や担当者しているケースの障がい者が、災害時にどうやって生き延びるかということ、考えてほしいと思う。

< 横井課長 >

各事業所で、利用者の特性に合わせて、個別に工夫して避難訓練をしていただいていると思う。災害対策を担当している、市の危機管理課の出前講座の利用もあると聞く。どういう避難訓練がよいのか、皆さんのご意見も伺いながら、障がい者支援課だけではなくその他の関係課とも連携をとりながら考えていきたい。

【質疑等（その他）】

< A 委員 >

就労選択支援が始まったが、市内に事業所はいくつあるのか。また、その情報はホームページに掲載されているのか。

< 小島主幹 >

今現在は0である。今後も事業所の状況について、情報収集に努める。

5 閉会

令和7年度第3回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議

日時：令和7年11月27日(木) 10時00分

場所：総合福祉センター4階402号室

<次 第>

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 各部会活動報告

①こども部会

②はたらく部会

③相談支援専門部会

④地域生活専門部会

⑤差別解消・虐待防止専門部会

(2) 千歳市からの報告

①千歳市障がい者地域生活支援拠点等の整備状況

②千歳市コミュニケーション条例制定記念行事の結果報告

4 その他

5 閉会

千歳市障がい者地域自立支援協議会委員名簿

任期：令和8年10月28日まで

選考区分	No.	所属機関・団体等	委員役職・氏名	第3回 会議 出欠	備考
(1) 公 募	1	公募	日 浦 祐 子	出	
	2	公募	白 畑 あゆみ	出	
(2) 福祉、保健、医療、 雇用、教育等に知識 及び経験を有する者	3	千歳公共職業安定所	上席職業指導官 村 田 直 也	出	
	4	北海道石狩振興局保健環境部 千歳地域保健室健康推進課	健康支援係長 守 村 里 美	出	
	5	医療法人資生会 千歳病院	地域連携室 主任 高 橋 洋 輔	出	
	6	株式会社119INTERNATIONAL	代表取締役 結 城 悟	出	
(3) 関係機関及び団体等の代表者又は推薦を受けた者	ア. 障がい者又は障がい 児の家族団体又は支援 団体等	7	千歳身体障害者福祉協会 会 長 古 田 聖	出	オンライン参加
		8	千歳聴力障害者協会 会 長 佐 藤 義 典	出	
		9	千歳視覚障害者福祉協会 会 長 菊 池 悦 子	出	
		10	千歳市肢体不自由児者父母の会 会 長 岡 田 美 智 子	出	
		11	千歳市手をつなぐ育成会 会 長 青 木 繁 雄	出	
		12	千歳市つくし会 事務局 長 後 藤 邦 子	欠	
	イ. 福祉、保健、医療、 雇用、教育等に関する 関係機関又は団体等	13	千歳市民生委員児童委員 連絡協議会 第1地区民生委員児童 委員連絡協議会会長 伊 林 美 代 子	出	
		14	千歳市社会福祉協議会 地域福祉課 長 長 澤 利 明	欠	
		15	千歳商工会議所 商工振興課 長 塩 原 祐 介	欠	
		16	北海道千歳高等支援学校 教 諭 秋 田 聡	欠	
		17	千歳市立北進小中学校 校 長 新 保 雄 三	出	
		18	北海道南幌養護学校 教 諭 濱 野 文 久	出	
19		就労推進室やませみ 室 長 玉 井 俊 導	出		
20		特定非営利活動法人 千歳めいぶるの会 事務局 長 高 橋 和 寛	出		
ウ. 障害福祉サービス事 業所等	21	生活介護ステーションゆみな 管 理 者 清 水 道 代	出		
	22	就労移行支援事業所ゆうび 管 理 者 山 崎 千 尋	出		
	23	自立訓練施設 蓮げ荘 管 理 者 大 山 智 昭	出		
	24	児童通所支援センターラブアリス 千歳桜木別館 児童発達支援管理 責任者 影 山 美 樹	出		
	25	共同生活援助事業所いずみ寮 管 理 者 田 口 幹 子	出		
エ. 相談支援事業所等	26	千歳地域生活支援センター センター 長 奥 貫 あ い 子	出		
	27	千歳市地域包括支援センター 西区地域包括支援セン ター センター 長 山 田 綾 香	出		

出席 23名
欠席 4名

3 議題(1)～(2)資料

3 議題

(1) 各部会活動報告

こども部会(P 1 ～ P 7)

はたらく部会(P 8 ～ P 1 4)

相談支援専門部会(P 1 5 ～ P 1 6)

地域生活専門部会(P 1 7 ～ P 1 8)

差別解消・虐待防止専門部会(P 1 9)

(2) 千歳市からの報告

千歳市障がい者地域生活支援拠点等の整備状況(P 2 0)

千歳市コミュニケーション条例制定記念講演の結果報告(P 2 1)

令和7年度 第3回 こども部会 報告	
日 時	令和7年8月26日(木) 10:00~11:10
場 所	千歳市総合福祉センター 402号室
参 加 者	ラブアリス千歳桜木別館(影山氏(部会長)・市川氏)、ライフヘルプちとせ(熊谷氏)、ちとせ児童発達支援センターはる(澤田氏)、第二ちとせくらぶ(山崎氏)、フェアリーみどり台(浅野氏)、ブランケット(大和氏)、ONE SMILE 千歳(長谷部氏)、デージーハウス(檀棒氏)、RASA(大園氏・長友氏)、ここち(長谷川氏・佐竹氏)、ほーむアスト(豊川氏・赤石氏)、chouchou chi tose(桜庭氏)、千歳市こども相談支援室あーち(宮坂氏)、計画相談つむぎ(横山氏)、相談支援事業所らいと(早川氏)、南幌養護学校(濱野氏)、千歳市児童発達支援センター(小林氏・松本氏・阪口氏)、学校教育課(池田氏)、千歳市障がい者地域自立支援協議会公募委員(白畑氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(館山氏)、千歳市障がい者基幹相談支援センター(米澤・中村)
要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支援者勉強会報告 2. 事業所説明会について 3. 学校見学会について 4. 情報共有・課題共有(グループワーク) 5. その他
会 議 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支援者勉強会報告 <p>令和7年7月4日、千歳市総合福祉センター402号室にて『7つの感覚がわかると変わる子どもへの関わり方』をテーマに、札幌市で訪問リハビリ等の事業を行っている子ども専門の作業療法士 青木美紀氏を講師に招き支援者勉強会を開催した。当日は16機関61名が参加。こどもの気持ちになって体験をしながら7つの感覚(触覚、固有感覚、聴覚、嗅覚、前提感覚、資格、味覚・食べること)を学び、日ごろの支援に役立つ視点を獲得する機会となった。当日参加した部会メンバーから以下のような感想が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的に言われている触覚等だけではなく、他の感覚にもふれられていてとても勉強になった。実践的なものが多く、最後までしっかりと学ぶことが出来た。身体の動きについても単純なものではなく、複雑に感覚に繋がっているということが分かった。支援の際や保護者との面談で伝えたり、こどもとの関わりに活かしていきたい。 ・自分自身作業療法士と同じ職種として話を聞いたが、あらためて感覚について学ぶことが出来たし、こどもや保護者、支援者同士で共有する時の伝え方を具体的にイメージしながら考えることが出来た。 2. 事業所説明会について <p>はたらく部会と共催で行う、令和7年度障がい福祉サービス事業所説明会について</p>

確認。9月20日10時～15時、北ガス文化ホール4階大会議室にて開催予定。現在はたらく部会とこども部会の実行委員会で準備を進めている。当日こども部会からは12事業所参加予定。昨年同様、一事業所長テーブルとパネル一台ずつ使用可能。会場にパンフレットコーナーを設置する予定であり、不参加事業所も配置可能。

3. 学校見学会について

例年行っている学校見学会を今年度も開催予定。今年度は小学校3校、中学校2校に依頼している状況。9月下旬から10月上旬にかけて実施予定であり、調整出来次第案内することを確認している。

4. 情報提供・課題共有

【情報提供】

- ・研修案内『災害時における自閉症児者支援について』
- ・北海道手をつなぐ育成会全道大会千歳大会 記念公演『すべての人が“生まれて良かった”と思える社会を目指して』講師：香山リカ氏（精神科医 総合診療医）

- ・千歳市児童発達支援センターより4点案内・周知事項があった。

保護者向けの学習会である就学学習会についての案内。第3回を9月2日『通常学級における特別支援教育について』、第4回9月30日は座談会方式でペアレントメンターから話が聞ける機会となっている。事業所職員もオンラインで参加可能。

令和7年度第1回事業所向け研修会について案内。令和7年10月17日(金)10時から11時半、千歳市総合福祉センター402号室にて開催予定。仮題『療育の歴史からこどもの権利と発達保障を考える』で札幌学院大学名誉教授二通先生を招き研修会を行う予定。詳細はあらためてメールにて案内する。第2回は令和8年1月29日千歳市総合福祉センターで行う予定。内容は虐待など家庭児童相談係に関わる研修会とする予定。

歯科検診8月6日実施。昨年度まで児童発達支援センター利用のこどもだけが対象だったが、今年度は市内事業所に通うこどもにもニーズがあると思われたため市内事業所にも周知し実施した。なかなか歯医者に行くことが難しいこどもで、年齢も幼児期から小学校6年生までと広く対象とした。今回16名申し込み、12名参加で、半数以上が児童発達支援センター利用ではないこどもだった。歯科衛生士による衛生指導、歯磨き指導を受けたり食事の相談もできる機会となった。第2回目は令和8年1月14日実施予定であり、11月頃案内予定。

児童発達支援センターの取り組みとして事業所に対する巡回支援を始めたいと考えている。以前アンケートを実施し、その回答を受け事業所からより具体的

なニーズを聞いた上で内容に合った専門職員が事業所を訪問し一緒に困りごとについて考えていきたい。今後あらためてアンケートを行う予定。

【課題共有】

「支援の取組みについての困り感、児童生徒についての最近の様子」を6つのグループに分かれて情報提供し合った。

- ・学習面では支援学級の宿題や課題の量と質が本人の学力や特性と見合っておらず、放デイでの学習を求められるケースがあった。普通学級所属の児童生徒にとっては計画的に物事を進める難しさが課題である。
 - ・身体面では筆圧や座位保持の苦手さ、手先や身体のフォローについての課題があげられた。千歳市児童発達支援センターのセラピストが小学校に運動面の巡回支援を実施している。
 - ・言葉の課題では、「ことばがでない」「周りの空気が読めない」等それぞれ違う様子なので巡回支援に来てほしいとのニーズがあった。また、函館にある「北海道発達障害者支援センター あおいそら」が実際に事業所に来て相談や助言を行うということもあったようだ。今後、必要に応じて打診してみるのも良い。不登校児の支援を行っている事業所も増えてきており、午前中からの開所や不登校児が集まって支援者とともに小さな集団活動や話し合いを取り入れている事業所などもある。
- グループごとに話題も多岐にわたった。今後も本人を取り囲む支援者が本児の情報や支援内容の共有を継続して行っていく必要性を確認した。

3. その他

- ・次回開催：令和7年度第4回こども部会は12月11日(木)10時～開催予定。

作成者

千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

令和7年度 第4回 こども部会 報告	
日 時	令和7年10月16日(木) 10:00~11:10
場 所	千歳市総合福祉センター 402号室
参 加 者	ラブアリス千歳桜木別館(影山氏(部会長))、ラブアリス千歳桜木(五月女氏)、十彩(尾崎氏・緑川氏)、すてっぷちとせ(熊谷氏)、にじいろひろばちとせ(沢井氏)、プランケット(大和氏)、デイジーハウス(檀棒氏)、SQUARE(上村氏)、RASA(長友氏)、ここち(長谷川氏・佐竹氏)、ほーむアスト(豊川氏・赤石氏)、chouchou chitose(桜庭氏)、ゆめラボ千歳信濃教室(松村氏・但田氏)、千歳市こども相談支援室あーち(宮坂氏)、相談支援事業所らいと(今野氏・早川氏)、南幌養護学校(濱野氏)、千歳市児童発達支援センター(渡辺氏)、障がい者支援課(西島氏)、千歳市障がい者地域自立支援協議会公募委員(日浦氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(館山氏)、千歳市障がい者基幹相談支援センター(米澤・中村)
要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和7年度障がい福祉事業所説明会報告・振り返り 2. 学校見学会報告・振り返り 3. 情報交換会(座談会)について 4. 情報共有・課題共有(グループワーク) 5. その他
会 議 内 容	<p>1. 令和7年度障がい福祉事業所説明会報告・振り返り</p> <p>はたらく部会と共催で令和7年9月20日に行われた障がい福祉サービス事業所説明会について報告。当日は141名来場、児童系の事業所は12事業所が参加した。児童発達支援・放課後等デイサービス利用の相談の他、将来を見据えて就労に関する情報収集に来た来場者も多くいた。当日参加した部会メンバーから以下のような感想が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用に繋がった人はいなかったがパンフレットを持って帰ってもらえることが多く、事業所について紹介できて良かった。他の事業所の特色を知ることが出来て勉強になったし、職員同士交流ができて良かった。 ・まだサービス利用をしたことがない方から相談があった。本人や保護者の気持ちや悩みを直接聞ける場となり有意義な時間だった。事業所としてももう少し準備をしていけばよかったと感じたので、次回は装飾なども含め楽しく参加できるようにしたい。 ・時間帯によって来場者が多い時間、少ない時間があった。気になる事業所のパンフレットを持って帰る方が多かったので、どの事業所もパンフレットを用意できたら良いのではと思った。 <p>2. 学校見学会報告・振り返り</p> <p>9月下旬から10月上旬にかけて市内小学校3校、中学校2校の見学会を実施。17</p>

機関 34 名が参加した。当日参加した部会メンバーから以下のような感想が出た。

- ・学校の雰囲気を見ることが出来た。子どもたちが事業所に来た時に学校での出来事を話してくれるが、より共感することができるなと思った。
- ・学校での子ども達の雰囲気や先生とのやり取りを見ることが出来て勉強になった。保護者との面談で学校に関する話題が出た時に、より具体的に伝えられると思った。
- ・支援級と普通級を見学し、学年ごと、学級ごとに取り組み方が違うことや、授業に参加できない子どもに対して先生の手厚い関わり方を見ることができた。

3. 情報交換会（座談会）について

令和 7 年 11 月 5 日 10 時から千歳市総合福祉センター402 号室にて開催予定。昨年の反省も踏まえ、今回はより同じ悩みを抱えた保護者同士が話しできるよう、事前に本人状況(過ごしている環境等)や悩みの内容を確認したうえでグループ分けを行う。事業所から各家庭に案内してもらうよう確認している。

4. 情報提供・課題共有

【情報提供】

- ・chouchou 千歳、RASA、ラブアリス千歳桜木、ゆめラボ千歳信濃教室から事業所の行事について情報提供。
- ・千歳市障がい者基幹相談支援センターより事業所職員向けである、令和 7 年度障がい福祉研修『聴いて、伝える』～コミュニケーションの基本～ について案内。
- ・障がい者支援課より、千歳市コミュニケーション条例制定記念行事 について案内。
- ・千歳市児童発達支援センターより 3 点案内・周知事項があった。

こどもの発達と障がい講座 11 月 26 日(水)18 時 00 分～20 時 00 分

『荒れる子、キレル子へ向ける大人のまなざし～おおらかにかまえて安心感を育てる保育を！～』講師：熊本学園大学名誉教授 宮里六郎氏

12 月 12 日(金)10 時～11 時半 保護者交流を行う

令和 7 年度第 2 回事業所向け研修会を令和 8 年 1 月 29 日開催予定。こども家庭課児童相談係を講師に招き、虐待防止に関わる内容となる予定。

【課題共有】

「個別支援計画作成と日々の送迎や冬季間中の支援で工夫していることや困っていること」、「服薬管理や保護者との連絡手段をどうしているか」についてグループに分かれ意見交換、情報共有を行う。

1. 個別支援計画について

- ・作成時期が重なるため、特に児発 放デイへの移行時に負担が大きい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域への課題の当てはめや、分け方・表現方法に悩むケースが多い。 ・初回作成は現場業務と並行し大変である。他事業所との照らし合わせ・情報共有が必要。 ・家族の思いの反映が難しい（小さい子どもなど本人の意見が拾いにくい）。 ・モニタリングを重視し、継続課題の見直しを行う。 ・AI（ChatGPT・Gemini・ディロボ等）の活用により、作成の効率化・ヒント得る事例あり。 <p>2．保護者との連絡体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡手段はLINEが主流。個別・グループLINEがあり、支部単位の大規模グループも存在。 ・LINEの送受信数が多いため、漏れ防止のために即時確認を徹底。緊急時は電話で対応。 ・連絡帳や写真付き記録は保護者から好評。 ・文章内容が正確に伝わっているか不安はある。 <p>3．投薬管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整腸剤などは本人の自己管理。メンタル系の薬は職員が管理。 ・保護者から薬を預かり、職員が見守りながら服薬確認を行う。 ・服薬後の空袋は返却し、チェック表で管理。 ・塗り薬（アトピー等）を預かる場合もあり。 <p>4．送迎・冬期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期は道路状況を考慮し、早めの出発を心がけている。遅延時は事前連絡。 ・運転の得意・不得意があり、勤務時間で調整する場合もある。 ・学校側の送迎時間変更により対応困難になるケースあり。 <p>5．その他共有事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所との連携を促進し、計画相談の実施を案内している。 ・学校教員への「療育」理解促進が必要（下校時刻や支援内容の共有など）。 ・デジタル記録（連絡帳等）は保護者共有に便利だが、閲覧期限が不明なため紙での保存も推奨。 <p>3．その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回開催：令和7年度第5回こども部会は12月11日(木)10時～開催予定。
作成者	千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

令和7年度 こども部会 支援者勉強会(学校見学会)報告	
日時 場所	令和7年9月22日(月) 9時35分～10時35分 千歳中学校 令和7年9月25日(木) 9時30分～10時30分 富丘中学校 令和7年10月1日(水) 9時30分～10時30分 信濃小学校 令和7年10月3日(金) 9時30分～10時30分 日の出小学校 令和7年10月9日(木) 9時30分～10時30分 泉沢小学校
参加者	ONESMILE 千歳店(1) にじいろひろばちとせ(2) ブランケット(2) プン・ブン・ブン・ハウス(1) ラブアリス千歳桜木(3) 児童デイサービスみどり台(1) RASA(1) こちこち(1) こども家庭課児童相談係(2) ゆめラボ千歳信濃教室(1) ラブアリス千歳桜木別館(4) 千歳市こども相談支援室あーち(2) 千歳市こども発達相談室はぐ(3) 千歳市児童発達支援センター(4) 第二ちとせくらぶ(2) 千歳市障がい者総合支援センターChip(1) 千歳市障がい者基幹相談支援センター(2) (参加人数)
要旨	1. 今後の情報共有のために、各学校の管理職、特別支援コーディネーター教諭、担任との顔合わせを目的とする。 2. 利用している児の集団生活の様子を学校に見に行くことで、各事業所での支援の材料とすることを目的とする。
内容	<p>今年度、市内の小学校3校および中学校2校の特別支援学級および普通学級の見学を行った。対象校は信濃小学校、日の出小学校、泉沢小学校、千歳中学校、富丘中学校であり、参加者は児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員、各校10名程度であった。</p> <p>見学は各校に現地集合し、担当教諭から教育内容の説明を受けた後、施設や授業の様子を観察し、質疑応答の時間を設ける形式で実施された。児童生徒が授業に参加する場面や休み時間の過ごし方を観察することができ、各学校の特別支援学級の特色や対応について理解を深めることができた。また、教員との顔合わせの場としても活用され、今後の情報共有や円滑な連携につなげる機会となった。</p> <p>小学校では、普通学級との交流がイベント時に限られず、児童が希望する教科に参加する場合も見られた。また、通級指導を利用している普通学級の児童も多く観察された。中学校では、不登校の生徒を支援するためのステップルームや教室に戻るまでの支援教室が設けられており、それぞれの生徒に応じたサポートが行われていることが確認できた。</p> <p>事業所の職員にとっても、児童生徒の学校での生活の様子を直接見る事ができ、各事業所での支援に活かすことができる貴重な機会となった。</p> <p>なお、これらの見学は引き続き次年度も実施する予定である。</p>
作成者	千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

令和7年度 第3回 はたらく部会 報告	
日 時	令和7年9月12日(金) 18:00~19:00
場 所	千歳市北新コミュニティセンター4号室(千歳市新富2丁目1-21)
参 加 者	32名(敬称略) 【福祉】千歳市基幹相談支援センター(米澤・中村)、千歳市障がい者総合相談支援センターChip(相澤・館山)、社会福祉法人せらび千歳地域生活支援センター(今野)、計画相談つむぎ(横山)、相談支援事業所らいと(今野)、社会福祉法人千歳いずみ学園いずみワークセンター(新川)、就労支援事業所(有)優美(藏田)、株式会社119インターナショナル エコ・ファクトリー(結城)、株式会社メビウス(藤原)、株式会社帆の風千歳営業所(藤岡)、株式会社ひまわりの会(稲船)、ウィンドバレー(千葉)、株式会社ドン・リースアンドレンタル物流センター(佐々木)、サークルエイト(三上)、NPO法人ちえりすパン工房ゆみな(藤原)、青葉の杜(森本)、Taruo Cafe(三上)、就労支援センターOm-net(八十嶋)、サポートセンターユリーカ(芦田)、健心サポート(上島)、コラボワーク(大山)、TeCREA 千歳(山田)、【一般】対話でつなぐ心のネットワーク(濱邊)、【学校】千歳高等支援学校(向)、【行政】ハローワーク千歳(村田)、千歳市役所保健福祉部障がい支援課(阿部)、北海少年院(太田)【事務局】千歳いずみ学園就労推進室やませみ(玉井・野田・山田・加藤)
要 旨	1. 開会・挨拶 2. 協議事項 (1) 令和7年度障がい福祉事業所説明会について (2) 「農福連携」施設外就労のご案内 (3) その他 3. 閉会
内 容	1. 開会・挨拶 2. 協議事項 (1) 令和7年度障がい福祉事業所説明会について 事務局より当日会場で使用可能な場所や各事業所のブースについて説明があった。 質疑応答 部会員：什器設置について、机の横幅が2,700mmとなっているが、机はこの大きさなのか？ 事務局：表記は間違いで、机の横幅は1,800mmである。 部会員：当日の会場は車いすの方も含めて参加される方が行き来できる十分なスペースは確保できているのか？ 事務局：正確には測っていないが、車いすは通ることができる。 (2) 「農福連携」施設外就労のご案内 野田より株式会社苫東ファームでのいちごのランナー取り作業について、仕事の内容や環境の説明があった。 (3) その他 千歳市コミュニケーション条例制定記念行事について 上記行事について千歳市役所保健福祉部障がい支援課の阿部係長から説明があった。

	<p>障がい福祉事業所合同説明会チラシ配りについて 野田より 9/17(水) 13:00~ JR 千歳駅にて障がい福祉事業所合同説明会 のチラシ配りを行う。協力してくれる事業所は募集中であり、参加人数が多い 場合は別の場所でも配布予定。</p>
	<p>3 . 閉会</p>
	<p>就労推進室やませみ 加藤 卓</p>

令和7年度 千歳市障がい福祉事業所合同説明会 報告	
日 時	令和7年9月20(土) 10:00~15:00
場 所	北ガス文化ホール4階大会議室(小会議室、展示ホール、ロビー)
参 加 者	<p>はたらく部会 52名(敬称略)</p> <p>千歳市内相談支援事業所(今野辰、今野理、土肥、中村、相澤、早川)、千歳職業安定所(村田)、いずみワークセンター(新川、高浜)、就労支援事業所ゆうび(藏田、道野)、(株)119 インターナショナル(平本)、(株)メビウス(柳沢、藤原)、(株)ウィンドバレー(千葉)、クレザ(山口、橋場)、(株)ドン・アンドリースレンタル千歳物流センター(佐々木、石川)、オープンカフェゆみな(藤原、小野田)、(株)帆の風(藤岡、箕崎)、サポートセンターユリーカ(芦田、鎌田)、青葉の杜(森本、田本)、晴レルモキッチン(川口)、O m - N e t (八十嶋、伊藤)、グウタッチ(佐々木)、健心サポート(上島、伊野、渡邊、高橋、石垣、星、桐本)、コラボワーク(大山静、大山)、テクレア(山田美、市川)、でじるみ千歳(佐藤、村木)、千歳視覚障がい者福祉協会(菊地)、千歳聴力障害者協会(佐藤)、デイケアひかり(橋場)、就労推進室やませみ(玉井、野田、加藤、山田、木場)</p> <p>子ども部会 10名(13事業所)</p>
開 催 内 容	<p>1. 開催時間 10:00~15:00(準備開始は9:00から)</p> <p>2. 開催場所 北ガス文化ホール4階大会議室 (小会議室、展示ホール、ロビー)</p> <p>3. 来場者数 合計 141名(障がい当事者、家族等)</p> <p>4. 開催結果</p> <p>(1)来場者数について 令和6年度の来場者数が168名であったのに対し、今年度は141名となり若干減少。要因として今回、物販は行わず作品展示、作業体験、相談を主にしており物品購入者来場がなかったと思われる。</p> <p>(2)事前準備について 事業所の意見を取り入れるために、6ヶ月前より準備実行委員会を発足。 案内状等作成、送付。 ポスタ、チラシ、当日用看板等作成。 ポスター、チラシ配布(デジタルサイネージ、SNS掲載)。 当日配布用リーフレット作成。</p> <p>(3)こども部会との共催 令和6年度同様こども部会と共同、同フロア同室で開催。児童関係事業所の見学に来た保護者から、「進学進路を決めるのに参考になります」「こういう機関(就労支援)があることを知って安心した」「作業内容を知れてよかった」などの声があった。</p> <p>(4)来場者アンケート結果について 次年度開催の参考とするため来場者に対してアンケート調査を行った。回答人数は64人であった。回答結果としては、「開催時期について」は「今のままでよい」が7割を超える結果となった。 また、「説明会の感想について」は「とてもよかった(57.8%)」、「よかった29.7%」と合計8割を超えており、非常に高い評価が得られた。 アンケート結果詳細は参考資料のとおり。複数回答あり。</p>

< 参考資料 >

お住いについて

		回答件数(64)	割合
千	歳	48	75.0%
恵	庭	7	10.9%
苫	小 牧	4	6.3%
長	沼 町	2	3.1%
岩	見 沢 市	1	1.6%
安	平 町	1	1.6%
北	広 島 市	1	1.6%

年齢について

	回答件数(65)	割合
70代	1	1.5%
60代	2	1.5%
50代	10	15.4%
40代	28	43.1%
30代	8	12.3%
20代	4	6.2%
10代	11	16.9%
10歳未満	1	1.5%

参加区分

	回答件数(68)	割合
当事者(障害のある方)	20	29.4%
当事者の家族	30	44.1%
当事者の友人・知人	0	0.0%
教育関係者	7	10.3%
福祉関係者	7	10.3%
医療機関者	1	1.5%
一般企業	0	0.0%
行政機関	3	4.4%

この福祉事業所説明会を何で知りましたか？

	回答件数(71)	割合
ポスター	16	22.5%
チラシ	23	32.4%
まいぶれ	2	2.8%
ちゃんと	3	4.2%
広報ちとせ	5	7.0%
千歳市デジタルサイネージ	6	8.5%
家族	2	2.8%
友人・知人	5	7.0%
その他	9	12.7%
	学校(4)・支援機関(3) 市役所(1)・昨年来て(1)	

会場までどのようにお越しになりましたか？

	回答件数(65)	割合
徒 歩	6	9.2%
車 (自 分 が 運 転)	43	66.2%
車 (他 人 が 運 転)	12	18.5%
交 通 機 関 (電 車 や バ ス)	2	3.1%
自 転 車	2	3.1%
タ ク シ ー	0	0.0%

福祉事業所説明会の感想をお聞かせください

	回答件数(64)	割合
と て も よ か っ た	37	57.8%
よ か っ た	19	29.7%
ふ つ う	5	7.8%
よ く な か っ た	0	0.0%
そ の 他	2	3.1%
無 回 答	1	1.6%

同じような説明会があった場合、また参加したいと思いますか？

	回答件数(64)	割合
参 加 し た い	57	89.1%
参 加 し な い	0	0.0%
わ か ら な い	7	10.9%

どのようなことを知りたくて事業所説明会に来場されましたか？

	回答件数(128)	割合
児 童 発 達 支 援	7	5.5%
放 課 後 デ イ サ ー ビ ス	16	12.5%
就 労 移 行 支 援	21	16.4%
就 労 継 続 支 援 A 型	29	22.7%
就 労 継 続 支 援 B 型	38	29.7%
就 労 定 着 支 援	10	7.8%
そ の 他	7	5.5%
	<ul style="list-style-type: none"> ・日中一時支援 ・生活介護 ・千歳市内の支援事業所はどのよう なところにあるのを知りたい ・グループホーム(重度)について ・説明会 ・相談支援事業所 	

知りたいことは聞くことはできましたか？

	回答件数(64)	割合
聞くことができた	44	68.8%
少し聞くことができた	9	14.1%
あまり聞けなかった	1	1.6%
聞けなかった	5	7.8%
未回答	5	7.8%

いくつのブースで話を聞きましたか？

	回答件数(64)	割合
1カ所	7	10.9%
2カ所	8	12.5%
3カ所	7	10.9%
4カ所	9	14.1%
5カ所	4	6.3%
6カ所	2	3.1%
7カ所	1	1.6%
8カ所	1	1.6%
全て	1	1.6%
パンフレットのみもらう(話は聞いていない)	10	15.6%
パンフレットもらっていない(話は聞かず)	1	1.6%
未回答	13	20.3%

開催時期はいかがでしたか？

	回答件数(64)	割合
今のままでよい	47	73.4%
春ごろ	2	3.1%
夏ごろ	0	0.0%
未回答	15	23.4%

今回の福祉所業所説明会以外にも、聞いてみたり知りたい情報がありましたらご記入願います。

- ・千歳の相談支援。
- ・児童デイサービスの種類、作業療法士や児発管の有無、発達検査の受けられる場所について。
- ・障害者雇用をやっている企業の情報。
- ・重度知的障がい児の居場所がないのでそういう話を聞きたいです。高校卒業後の居住などについても知りたいです。
- ・魚、動物などのお世話をできるお仕事ができる事業所があるのか知りたいです。
- ・一度にたくさんのブースを見れてよかった。将来のために参考になりました。
- ・グループホームの情報をもっと知りたいです。
- ・給料等お金のこと、相談等について。

	<p>ご意見などがございましたらご記入願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前中で帰る事業所があるなら、開催時間をもっと短縮してもいいのではないか。もしくは午前の部、午後の部と分けて、空きブースがないようにしてほしい。 ・とてもためになりました。勉強していきます。進学、進路を決めるのに参考になりました。当事者、当事者の家族、福祉関係の方にもとてもよい説明会であったと思います。 ・また参加したいです。 ・引っ越してきたばかりで何もわからず、息子が6年生で今後中学校もどこへ行くか、どの道へ進むか悩んでいたのが良かったです！ありがとうございます。 ・会場内の説明がなく、どうしたらいいかわからなかった。親切な企業の方が教えてくれました。 ・楽しいこと、得意なことでお仕事ができるのはとてもいいと思いました。 ・事業所同士が連携できてよかったです。 ・学校への登下校時、移動支援をしてほしい。 ・開催時期は年3回とかに増やしてほしい。 ・可能であれば年2回位あるといいです。 ・A型、B型等わかりやすく表示されていて良かったです。 ・とても親切でよかったと思います。 ・将来に希望が見えました。 <p>(5) 運営面について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千歳駅周辺でのチラシ配布を行う。 ・会場設営は事務局、準備実行委員担当。終了後片付けは参加事業所全員で行う。 ・次年度の課題として午後からの来場者が少ないため時短での開催を検討。 <p>追記 本年度、物販は行わず説明会を主に行っている。落ち着いて熱心に説明を聞く来場者が多かったと感じられる。</p>
作成者	就労推進室 やませみ 山田 加代子

令和7年度 第3回 相談支援専門部会 報告	
日時	令和7年9月25日(木) 15:30~17:00
場所	千歳市しあわせサポートセンター会議室
参加者	千歳地域生活支援センター(奥貫部会長)、障がい者支援課(小島氏)、東区地域包括支援センター(内藤氏)、千歳豊友会病院(東野氏)、千歳桂病院(吉田氏)、夢民(戸田氏・越後氏)、相談支援事業所らいと(今野氏)、計画相談つむぎ(横山氏)、こども相談支援室あーち(吉田氏)、計画相談青空(吉田氏)、千歳市相談支援センターゆうしんかん(鈴木氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(福田氏)、千歳市障がい者基幹相談支援センター(米澤・中村)
要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報共有(各機関の相談傾向) 2. 事例検討 3. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて(地域の社会資源の情報等も含む)
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報共有(各機関の相談傾向) <p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院調整の際、若年のため介護保険が適用にならず、障がいの相談支援事業所へ連絡しサービス調整に至るケースがあった ・9月に入り院内でコロナが発生、一時的に職員が対応に追われ疲弊していた ・身寄りのない方の金銭管理等で、後見人の手続きを進めるがその中で亡くなるケースもあった ・病棟・外来含め平均年齢が上がり、家族亡き後の生活の心配に関する相談が増えている ・デイケアが年内で休止となる <p>【広域相談支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の相談は区の委託相談へ繋いでいる ・他府県や「いのちの電話」からの問い合わせもあった ・圏域の市町村では、就労選択支援や災害時の体制の整備に関する話題が多い <p>【高齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の過ごし方や住まいに関する相談が増えている ・介護保険の2号被保険者が、障害福祉サービスの就労を併用しているケース <p>【障がい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢の家族から障がいのある子どもについての相談が多い印象 ・障がい福祉分野以外の機関(職業相談・高齢・子ども福祉・学校)から相談があり繋がるケースが続いている ・相談支援事業所の変更に関する問い合わせ ・就労に関する相談、特にPC関連の事業所を希望するケースが多い印象 ・サービス支給量の変更など、調整が必要になる相談が続いている ・重層的支援の必要なケースでは、社会福祉協議会等と連携して対応している

	<p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育手帳の取得によるメリットなど、ご家族からの相談が定期的にある ・就労に関する相談が多い <p>2．事例検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例提供者より説明（障がい者の退院支援やサービス利用調整に関わる諸々の手続きの不便が起きたケース） ・意見交換 <p>3．「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について （地域の社会資源の情報等も含む）</p> <p>千歳市内の状況について、新規事業所や障害福祉サービス関係だけではなく、インフォーマルなサービスや普段障がい者が利用・活用している社会資源について情報共有している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧に精神障がい者に特化した訪問看護事業所が開所し、千歳も支援範囲となっている ・フリーマーケットやリサイクルショップをうまく活用し、身の回りの物品を揃え生活しているという話を聞くことが多い印象 ・市民プールなど公的な施設の有効利用（障がい者手帳所持で割引あり） ・携帯電話の契約などに関するトラブル <p>・次回の開催予定について</p> <p>令和7年11月27日 15:30-17:00 社会福祉協議会会議室または 千歳市しあわせサポートセンター会議室</p>
作成者	千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

令和7年度 第1回 地域生活専門部会 報告	
日 時	令和7年10月16日(木) 13:30~14:30
場 所	千歳市しあわせサポートセンター内 会議室
参 加 者	千歳めいぶるの会(高橋部会長)、千歳市肢体不自由児者父母の会(岡田氏)、千歳地域生活支援センター(奥貫氏)、支援センターゆみな(清水氏)、千歳視覚障害者福祉協会(菊池会長)、千歳市障がい者支援課障がい福祉係(阿部係長)、千歳市障がい者基幹相談支援センター(米澤・中村)
要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後の地域生活専門部会について 2. 情報交換 3. その他
会 議 内 容	<p>1. 今後の地域生活専門部会について 千歳市障がい者支援課 阿部係長より</p> <p>自立支援協議会定例会議で同意を得て決定した構成機関について、新たに千歳市民生委員児童委員連絡協議会と地域生活支援拠点等拠点機能事業所が加わったこと、千歳市障がい者総合支援センターChipセンター長が副部会長に指名されていることを確認している。</p> <p>地域生活支援拠点等については、地域で生活している障がい者が安心して住み慣れた地域で暮らしていくための体制整備を目的としている。千歳市では多くの障害福祉サービス事業所に拠点機能事業所として登録してもらい、受け皿となって活動してもらえらる面的整備を進めている。</p> <p>地域生活専門部会として今年度は拠点等整備に関する取り組みが中心となる予定で、現時点の拠点機能事業所の登録や手続き・意思表示状況を共有し、これからの流れを確認。地域生活専門部会が関わる場所では、今後、市より地域における緊急リスクの高い障がい者のピックアップおよび事前登録の支援を依頼する文書が発出され、その後各機関で事前登録勧奨・支援を行っていく。登録者の状況により、緊急時の支援について予め協議した方がよいと判断されたケースは地域生活専門部会に拠点関係機関を招集し検討会議を行う予定となる。</p> <p>今後、専門部会としての活動は、不定期に必要なに応じて市が招集するが、これまでの地域生活部会としての自由な取組みも並行して進めることができる。</p> <p>2. 情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所において人材不足の課題が多く聞かれており、スポットワークの活用について意見交換をしている。職員の高齢化や新規職員が入ってこないというような状況で、職員が休んだ時の人のやりくりが難しい。スポットワークを活用し休職中の有資格者が雇用に繋がるケースもあり、採用に関わるリスク軽減も期待できるとの意見も出ている。 ・地域生活拠点等事業は一人暮らしが難しい方が対象ではあるが、家族と疎遠だったり身寄りがない独居の障がい者も多い現状がある。拠点等事業で対応で

	<p>きないケースについても部会内で共有し支援方法等を協議することも地域生活専門部会の取り組みとして行っていけるとよい。</p> <p>3. その他</p> <p>次回の部会は、緊急時対応が必要等のハイリスク家庭や、拠点等整備の中で緊急時の受け入れ・対応機能に係る利用登録の申請には至らないが地域で気になる家庭について個別ケースの事例を共有する予定。開催時期についてはあらためて事務局より案内する。</p>
作成者	千歳市障がい者基幹相談支援センター 米澤 緒子

令和7年度第1回千歳市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議	
日時	令和7年10月3日
場所	(書面会議)
参加者	関係30機関
要旨	令和6年度における障がい者虐待の状況について
会議内容	<p>1 市の体制</p> <p>2 障がい者虐待の状況 令和6年度における障がい者虐待の相談・通報件数：23件(26名) (令和5年度と比較し同件数、3名増加) (内訳) 養護者による虐待：2件(2名) 養護者による虐待の疑い：13件(13名) 施設従事者等による虐待：4件(7名) 施設従事者等による虐待の疑い：3件(3名) 使用者による虐待：1件(1名) 使用者による虐待の疑い：0件(0名) (7件(10名)を虐待と認定)</p> <p>3 今後の市の取り組み</p>
作成者	千歳市保健福祉部障がい者支援課 伊藤 灯

千歳市障がい者地域生活支援拠点等機能事業所一覧

登録年月日	事業所名	サービス種類	居住支援機能	相談支援機能	体験の機会・場の提供	体験の機会・場の提供	緊急時の受入れ・対応	緊急時の受入れ・対応	地域の体制づくり
R7.9.10	サークルエイト	就労継続支援B型				○	○	○	
R7.9.11	計画相談つむぎ	計画相談支援	○	○	○			○	○
R7.9.11	計画相談つむぎ	障害児相談支援		○					○
R7.9.11	やさしい介護ちとせ	居宅介護				○	○	○	
R7.9.11	やさしい介護ちとせ	重度訪問介護				○	○	○	
R7.9.11	共生型ケアホーム やさしい介護ちとせ	共同生活援助	○		○	○		○	
R7.9.11	蓮げ荘	自立訓練				○		○	
R7.9.11	蓮げ荘	短期入所				○	○	○	
R7.10.2	ぐるーあつぱまくあけ 千歳	共同生活援助	○		○			○	
R7.10.10	計画相談 青空	計画相談支援	○	○	○			○	○
R7.10.10	計画相談 青空	障害児相談支援		○					○
R7.10.14	めいぶるハウス	共同生活援助							
R7.10.14	めいぶるほっとい~よ	生活介護							
R7.10.21	グループホーム TARUO	共同生活援助							
R7.11.18	青葉の郷	共同生活援助							
R7.11.18	青葉の郷	短期入所							
手続き中	いずみ寮	共同生活援助							
手続き中	いずみワークセンター	就労移行支援							
手続き中	いずみワークセンター	就労定着支援							
手続き中	いずみワークセンター	就労継続支援B型							
手続き中	障がい者支援施設 いずみ	施設入所支援							
手続き中	障がい者支援施設 いずみ	生活介護							
手続き中	障がい者支援施設 いずみ	短期入所							
手続き中	障がい者支援センター キラリ	生活介護							
手続き中	相談支援事業所らいと	計画相談支援							
手続き中	相談支援事業所らいと	障害児相談支援							
手続き中	就労支援センター Om-net	就労継続支援B型							
意思表示	エコ・ファクトリー	就労継続支援A・B型							
意思表示	NPO法人 アシストセ ンターちえりず	未定							
意思表示	優友ハウス	共同生活援助							
意思表示	ライフヘルプちとせ	居宅介護・重度訪問 介護・同行援護・行 動援護							
意思表示	千歳地域生活支援セン ター	計画相談支援・地域 移行支援							
機能合計			9	4	8	8	8	22	8

サービス別集計	事業者数
訪問系	2
日中活動系	8
共同生活援助	7
施設入所支援	1
相談系	4

千歳市コミュニケーション条例制定記念行事
「障がいに、ふれる。」実施結果

自立支援協議会
議題(2) -
障がい者支援課

1 目的

令和7年3月10日に「千歳市コミュニケーション条例」が制定されたことに伴い、条例の基本理念、コミュニケーション等のための多様な手段及び共生社会に対する理解促進を図る。

2 日時 令和7年10月29日(水) 17:00~20:00

3 会場 北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 2階

4 内容

第1部 展示・体験(17:00~18:25)

アクティブ車いす体験、手話・要約筆記・点字体験、情報・コミュニケーション支援機器の展示・体験

第2部 記念講演(18:30~20:00) 2階中ホール(手話通訳・要約筆記あり)

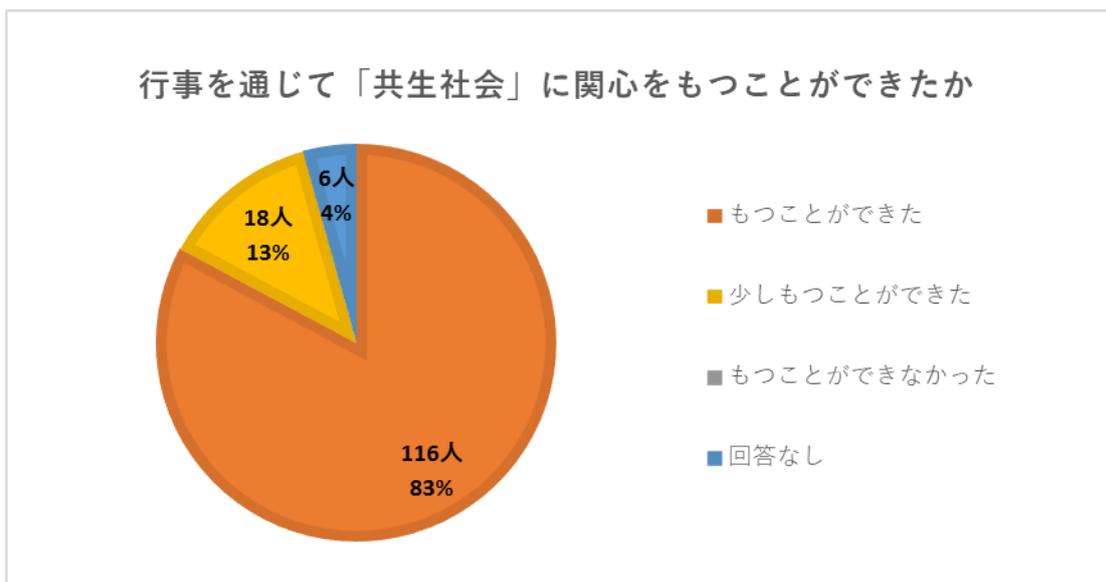
演題:パラリンピアンとして生き、今思うこと

講師:狩野 亮 氏(パラアルペンスキー金メダリスト・北海道出身)

その他:来場者には、千歳市コミュニケーション条例PRリーフレットを配布

5 参加者数 216名

6 参加者アンケート結果 回答者数140人(回答率64.8%)



・行事を通じて「共生社会」に「関心をもつことができた」、「少し関心をもつことができた」と回答した人は134人となり、全体の95%を超え、「もつことができなかった」と回答した人はいなかった。

・「共生社会に対する理解促進」という行事開催の目的に沿った評価を得ることができた。